

(様式2)

令和7年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	1 何事にも真摯な態度で取り組み、自らの将来を創造的に切り拓く力を育む 2 自主的に知力、判断力を高め、社会の変化に対応し逞しく生きる力を育む 3 多様な人々との協働をとおして、人を思いやる豊かな心を育む
(2) 現状と課題	総合学科の特徴を生かし、生徒の幅広い進路志望等に応じたきめ細かな教育活動を通して、個性を伸ばすとともに、地域と連携・協働した探究活動や社会奉仕活動、部活動により郷土への誇りと愛着や協調性を育み、豊かな心を持った未来を切り拓く人材を育成することを目標に、日々努力している。本校生徒は素直で真面目な生徒がほとんどであるが、近年、人間関係をうまく築くことができない生徒も増加している。適切な生徒理解といじめ、不登校や問題行動等の未然防止及び早期発見のために、全教職員が連携して取り組んでいくチーム力向上の必要がある。また、生徒の多様な進路希望に対応するとともに、生徒が主体的に学習に向かう姿勢を育むための教育課程・学習指導・進路指導に関する一層の教員の資質向上が必要である。
(3) 重点目標	1 規律ある学校生活と豊かで思いやりのある心の育成 2 学力の向上と主体的・探究的な学習態度の育成 3 キャリア教育と進路指導の充実 4 保護者・地域・関係団体との連携及び協働
(4) 結果の公表	校内、外部アンケートの集計結果と「学校評価結果報告書」をホームページで公開する

学校整理番号	14
学校名	木造高等学校
全日制の課程	
自己評価実施日	令和7年12月8日(月)

(9) -ウ 学校関係者評価実施に向けた取組について
次年度より、学校運営協議会にて評価を実施する。

自 己 評 価					
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(10) 次年度への課題と改善策
1	規律ある学校生活と豊かで思いやりのある心の育成	① 基本的な生活習慣を確立するために ・部活動や学校生活の中で礼儀やマナーの徹底を図る。 ・二者・三者面談の充実により生徒理解を図り、いじめや不登校の未然防止や早期対応を図る。 ② 安全安心な学校生活を送るために ・相談しやすい環境づくりに努め、SCを定期的に配置し、教育相談や特別支援体制の充実を図る。	①部活動指導や学校生活の様々な場面を通じ、礼儀・マナーの周知を指導した結果、全体としては良好である。いじめ・不登校防止では「生活相談アンケート」や定期面談の回数を増やし、早期発見・早期対応の体制を強化した。 ②心理アセスメントも用いて「教育相談週間」を実施したり、生徒が相談しやすい環境を整えたり、SCの協力を得たりすることで、組織的な生徒支援を継続したことで一定の成果を得ることができた。また、いじめ防止啓発教室を複数回行うことで、いじめの未然防止、早期対応についても成果を得ることができた。	B	・挨拶、礼儀及び基本的な生活習慣を育成するために教職員全体で指導を継続する。 ・面談やアンケート等を通して生徒理解を一層深め、いじめの防止や早期発見につなげるとともに、組織的に対応する。 ・アサーティブコミュニケーション力を育成するための指導を行っていく。
2	学力の向上と主体的・探究的な学習態度の育成	① 学力の向上を図るために ・生徒の実情に即した分かる授業を実践できるように授業改善を図る。また、家庭学習習慣が確立するよう指導する。 ② 教員の資質向上により主体的学習態度を育成するために ・各種の校内研修や各教科の研究授業を計画・実施することで自己研鑽し、学習指導に生かすようにする。また、ICTを活用した授業を展開するための教材研究に取り組む、生徒が主体的に学習に取り組めるよう授業改善を図る。 ・総合的な探究の時間及び課題研究において、仲間と協働して循環的な探究活動を行うことで、課題解決能力と主体的に学ぶ力を身に付ける。	①ICTを適切に活用した教材研究により授業改善を図り、生徒アンケートでは「説明の分かりやすさ」等において8割以上の肯定的評価を得た。生徒の志望や学力に応じた、個別添削や補習などの学習支援を行ったが、個に応じた指導については今後も改善が必要である。また、生徒の家庭学習習慣の確立には依然として課題が残っている。 ②年間を通して必要なときに適切な研修を行い、教員の資質や実務能力の向上が図られ、生徒の主体的な取組の育成にもつながった。一方で、教員間の「互見授業」は実施が低調であり、次年度の仕組み作りが課題となった。	B	・学力の向上を図るためには、家庭学習の習慣化が必要である。また、個に応じた学習への対応に向けて、学習支援システムの活用や授業改善を全職員で行う。 ・教員の資質向上に向けて、適宜適切な研修を引き続き行っていく。また、授業力向上のための互見授業の体制を整える。
3	キャリア教育と進路指導の充実	① キャリア教育の推進のために ・生徒の幅広い進路志望に対応するために、総合的な探究の時間及び課題研究において、自己の進路希望に関連した課題を設定させ、地域や小学校・中学校・高校・大学等と連携を図りながら、循環的な取組を実践できるよう指導する。また、1年次においては、産業社会と人間の時間において、職業観・勤労観の育成のためインターンシップを実施する。 ② 進路指導の充実のために ・進路選択や卒業後の生活に役立つよう、保護者向けの講演会を積極的に実施していく。	①総合的な探究の時間等では、外部団体の助成や大学との連携、地域資源を活用した地域課題探究を通して循環的な学びを展開し、学習活動成果発表会では、外部講師からも生徒の成長が高く評価された。1年次の「産業社会と人間」において、地域の50事業所の協力により生徒137名全員が2日間のインターンシップを実施し、職業観を醸成した。 ②1・2年次の保護者を対象に、奨学金説明会や入試説明会を早期に実施し、好評を得た。進学指導では指導時期を見直し、全校体制で個別指導を行った結果、大学進学、就職とも合格率が増加した。	A	・総合的な探究の時間等については、引き続き循環的な取組を推奨するとともに、教員も探究することでより探究を深化していくようにする。 ・保護者は、進路に関する知識や情報が乏しい傾向にあるため、今年度の実績を継続しながら、より必要な情報を積極的に提供していく。 ・資格取得に関しては、特に英語検定2級取得の指導に努めていく。
4	保護者・地域・関係団体との連携及び協働	①保護者・地域への情報提供とPRのために ・学校情報を積極的に発信するために報道機関(新聞社、テレビ)への取材・報道依頼をしたり、HPを定期的に更新したりする。また、木高新聞・PTA会報・学校案内・年次通信・進路通信等を発行し、保護者へ配布する。 ②地域との連携・協働 ・地域からの要請に応え、ボランティア活動に積極的に参加・協力する。また、本校後援会・同窓会と連携を図り、教育活動に協力を依頼する。	①木高通信、木高新聞、進路通信、ハートフルリーダー通信の定期的な発行や広報つがるへの学校情報の掲載、ホームページの更新を継続し、保護者・地域への積極的な情報提供に努めた。 ②「馬市まつり」や「Jomon fes.」での運営補助等、ボランティア活動に多くの生徒が参加し、地域貢献を果たした。創立100周年記念事業(令和9年度)に向け、協賛会を設置して同窓会・後援会と緊密に連携しながら計画的に準備を進めるとともに、CS(コミュニティ・スクール)移行に向けた体制を整えた。	A	・学校の取組を外部に積極的に効果的に発信するよう発信方法について改善を行っていく。 ・地域・保護者・本校後援会・同窓会との連携については、より深めることができるよう、教職員全員が関わる意識を醸成し、教育活動がより充実できるように進めていく。

(11) 総括	本年度は、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを基盤として、学校全体で教育活動の充実に取り組んできた。特に教育相談体制の整備・充実を図り、生徒一人一人に寄り添った支援を推進することで、安心して学びに向かうことができる学校づくりを進めてきた。そのような基盤のもと、探究活動においては外部団体の助成の活用や大学・地域との連携を推進し、学びを社会と結び付けながら活動の一層の深化を図ることができた。進学・就職指導においては、全職員が共通理解のもと組織的に指導に当たった結果、国公立大学及び就職の合格率の向上という成果につながった。また、学校の教育活動や生徒の状況について保護者への情報発信を適時適切に行い、家庭との連携の充実にも努めた。一方で、個別最適な学びの実現に向けた指導の充実や、生徒が学習に主体的に取り組む態度の育成、生徒会活動をはじめとする主体的な活動の活性化にはなお課題が見られる。今後は、校長のリーダーシップのもとカリキュラム・マネジメントの視点を生かしながら教育活動の改善を進めるとともに、探究活動における発表や交流の機会を充実させ、生徒のプレゼンテーション能力の向上にも一層取り組み、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばす学校づくりを推進していく方針です。
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------